

《参加資格》
以下の3つの条件を満たしている方

1. 2020年4月1日時点で、小学1年生～高校3年生までの方
2. 申込時点で参加希望の楽器を1年以上経験している方
3. 月3回程度の練習に参加できる方

※2020年度の募集は弦楽器に限ります。2019年度音楽院のこどもの弦楽合奏I・II・IIIをご受講の方は受講可。

《時間》：土曜日 15:00～16:30

《練習場所》：大阪音楽大学

《受講料》：一般：3,000円/回

音楽院会員：音楽院キッズレッスン(弦楽器)受講生：1,000円/回
マンツーマンレッスン(弦楽器)受講生：1,000円/回

※一般の方が音楽院のレッスンを**重複受講**される場合も**会員価格**となります。
※6ヶ月まとめて納入いただけます。
※途中退団の場合は返金できません。

《指導陣》：指揮者/牧村 邦彦【ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者】

ヴァイオリン/赤松 由夏(指導統括)【ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コンサート・マスター】

練習の指導：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団楽員

※運営の都合上、音楽院講師または大阪音楽大学演奏員が指導に入る場合がございます。
※指揮者は練習に年5回、コンサートと合わせて計6回参加します。

《練習内容》：合奏練習を月2回程度、セクション練習を月1回程度行います。

・練習は土曜日に90分程度行います。

・基本的には弦合奏のみの練習です。コンサート前に木管・金管・打楽器が入ります。

※コンサートは指導状況や演目によって弦楽器のみの演奏となる場合がございます。予めご了承ください。

・ジュニアオーケストラ練習時に個人へのマンツーマンレッスンは原則行いません。

※マンツーマンレッスンレッスンを希望される場合は、大阪音楽大学付属音楽院のマンツーマンレッスンまたはキッズレッスンをご受講ください。
※別途レッスン料が発生します。

《演目》：未定(受講状況のレベル等に合わせて指揮者、統括と協議)

《演奏・行事予定》：年に1回のコンサートの実施(2021年3月28日[日]実施予定)

・9月5日[土]、12日[土]はミレニアムホールにて公開練習

《日程》：土曜日 年間31回+コンサート

2020年

4月 25[土]

5月 2[土] 9[土] 23[土] 30[土]

6月 6[土] 13[土] 20[土] 27[土]

7月 4[土] 11[土] 18[土]

8月 8[土] 22[土] 29[土]

9月 5[土]^{※1} 12[土]^{※1}

10月 17[土]

11月 14[土] 28[土]

12月 5[土] 12[土]

2021年

1月 9[土] 16[土] 23[土]

2月 13[土] 20[土] 27[土]

3月 6[土] 20[土] 27[土]^{※2}

コンサート28回^{※3}

※青字とコンサートの日程に指揮者が入ります。

※1 公開練習 会場：大阪音楽大学ミレニアムホール

※2 コンサート練習 会場：大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス

※3 コンサート 会場：大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス



指揮：牧村邦彦

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 正指揮者

大阪芸術大学演奏学科卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてO・スイトナー氏のもとで学ぶ。大阪シンフォニカー交響楽団(現大阪交響楽団)指揮者として、91年から04年まで13年間にわたり活躍し、他に京都市響、関西フィル、京都フィルとも長く共演する。海外でもブルジョア国立交響楽団、ウィーン楽友協会ホールでアンバサダー・オーケストラ・ウィーンを指揮。現在では毎年6作品以上のオペラ作品を継続的に指揮する国内で最もオペラ指揮活動の多い指揮者の一人である。全国の『二期会』を始めとする各地のオペラ団体、米国ソルグ、ホワイトウォーター各オペラカンパニーへの客演指揮等国内外で活躍。指揮をした公演が、大阪文化祭賞本賞、二回の佐川吉男音楽賞奨励賞、佐川吉男音楽賞本賞、兵庫県芸術奨励賞、音楽クリティッククラブ奨励賞を受賞。自身も、オペラへの貢献から尼崎市民芸術奨励賞、川西市市民文化賞を受賞。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者・大阪音楽大学大学院非常勤講師・みつなかオペラ音楽監督。



指導統括：赤松由夏

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コンサート・マスター

大阪音楽大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。東京読売新人演奏会や大阪音楽大学卒業演奏会など、学内外のコンサートに出演。プラームス、サン・サーンス、モーツァルトの協奏曲をザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。オーボエの巨匠インゴ・ゴリツキー氏とJ.S.バッハの“オーボエとヴァイオリンの為の協奏曲”を共演。1999年渡英、J・ロシュタイン氏の下で研鑽を積む。これまでに、長谷川孝一、東儀幸、宗倫匡の各氏に師事。西宮音楽協会会員。関西室内楽協会会員。

伊丹シティフィル弦楽器トレーナー。弦楽合奏団 Musica1.4.8メンバー。2002年よりザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コンサート・マスターを務め、本年より関西フィルハーモニー管弦楽団特別客演コンサート・マスターを兼任。大阪音楽大学特任准教授として後進の指導にもあたっている。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織。定期演奏会は2019年6月で55回となった。

ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ・カレッジ・オペラハウスの引越越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。

2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ・シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター・グライズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。

さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.ブリテン《カーリヤー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。

名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンソン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。
公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。



大阪音楽大学付属音楽院
Osaka College Of Music Affiliated Music School

☎ 06-6334-2909

運営
お問合わせ

〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8

☞ www.ongakuin.jp

音楽院

検索

✉ ongakuin-support@daion.ac.jp